

## 第40回 日本ボタニカルアート展

期間：10月13日(水)～19日(火)

※最終日は16:30閉場

場所：新宿店本館10階美術画廊・アートサロン

日本ボタニカルアート協会は「植物画を芸術の領域に」との志を持ち、1971年に第1回展を当店で開催しました。多種多様な植物をつぶさに観察し、それぞれの特徴を精密に実寸大の大きさと鉛筆と水彩絵の具で描く「ボタニカルアート」は、今や多くのファンを魅了し、広く一般に普及しました。

40回目を迎える今展では、日本ボタニカルアート協会の作家8名が、限らない探求心と、高い芸術性を追求して描いた力作の約80点を一堂に出品します。



▲吉田 桂子「サネカズラ」

こうづる げん

## 高鶴 元 渡米30周年展

期間：10月27日(水)～11月2日(火)

※最終日は16:30閉場

場所：新宿店本館10階美術画廊

日本の伝統的な陶芸表現をもとに世界に飛躍し、現在アメリカで作陶を続ける高鶴元の新作展を開催します。

1980年、ハーバード大学に招かれ渡米して以来30年。3年目からは大学を離れ、ボストン郊外のニューイングランド・トップスフィールドに窯を構え、セントヘレンズの火山灰や、様々な色釉との出会いを経て、豊かな自然に彩られた環境の中、池に集まる鳥や動物に触発され、身近な器や意欲溢れる茶道具などを中心に制作してきました。

今展では、今年の春新たに生まれた心象的な作品も含め、アメリカで新しい作陶に挑み続ける作家の30年の成果約100点を出品します。



▲「色釉茶入」径10cm×高さ6cm

あきやま いわお

## 卒寿記念 秋山 巖 木版画展

期間：10月27日(水)～11月2日(火)

※最終日は16:30閉場

場所：新宿店本館10階アートサロン

棟方志功に師事し、民俗学に根ざした民話や仏教から啓示を受けたテーマをもとに、独自の洒脱な表現で知られる作家の木版画展を開催します。

ふくろうや猫などの小動物や、俳人・種田山頭火の俳句の世界を表現した作品など、自然とのかかわりや温かい想像力に満ちた作品約50点を出品。木版画一筋、今年90歳を迎える作家の、純粹無垢な芸術世界を楽しめます。



▲「山行水行」70cm×55cm